

【参考１】ＩＣＴ活用工事及び簡易型ＩＣＴ活用工事

	施工プロセス	工事成績
簡易型 ＩＣＴ 活用工事 (作業土工 (床掘 工))	【ケース１】①②③⑤を活用する場合 ① ３次元 起工測量 【見積り】 ② ３次元 設計データ 【見積り】 ③ ＩＣＴ建機 による施工 【ＩＣＴ積算】 ④※１ 従来管理 (対象外) ⑤ ３次元 データ納品 (対象外)	創意工夫【施工】で加点（１項目） ☑運搬車両・施工機械等の工夫
	【ケース２】②③⑤を活用する場合 ① 従来測量 (従来率) ② ３次元 設計データ 【見積り】 ③ ＩＣＴ建機 による施工 【ＩＣＴ積算】 ④ 従来管理 (対象外) ⑤ ３次元 データ納品 (対象外)	

※１ ＩＣＴ作業土工（床掘工）の出来形管理については、対象外とする。

【参考 2】 I C T 活用工事及び簡易型 I C T 活用工事を除く生産性向上に資する I C T 活用工事

次の技術等を活用した場合、生産性向上に資する工事とする。

例) 自動追尾トータルステーション、パワーアシストスーツ、情報共有システム（A S P）、遠隔臨場、A I 技術、V R 技術、3 次元起工測量、
2 次元M C又はM G 等

⇒創意工夫【その他】で加点

☑【生産性向上】 I C T 活用工事及び簡易型 I C T 活用工事を除く生産性向上に資する取組みが図られている。

【参考 3】 創意工夫で加点するための履行確認書類（例）

技術名等	創意工夫等 別添様式1, 2の作成	備考
I C T 活用工事、簡易型 I C T 活用工事	不要	I C T 活用工事計画書、出来形管理書類等で I C T を活用したことが確認できる。
自動追尾トータルステーション	必要	
パワーアシストスーツ	必要	
情報共有システム（A S P）	不要	工事打合せ簿等にて A S P を活用していることが確認できる。
遠隔臨場	不要	段階確認記録表等にて遠隔臨場を実施していることが確認できる。
A I 技術	必要	
V R 技術	必要	
3 次元起工測量	必要	
2 次元M C又はM G	必要	